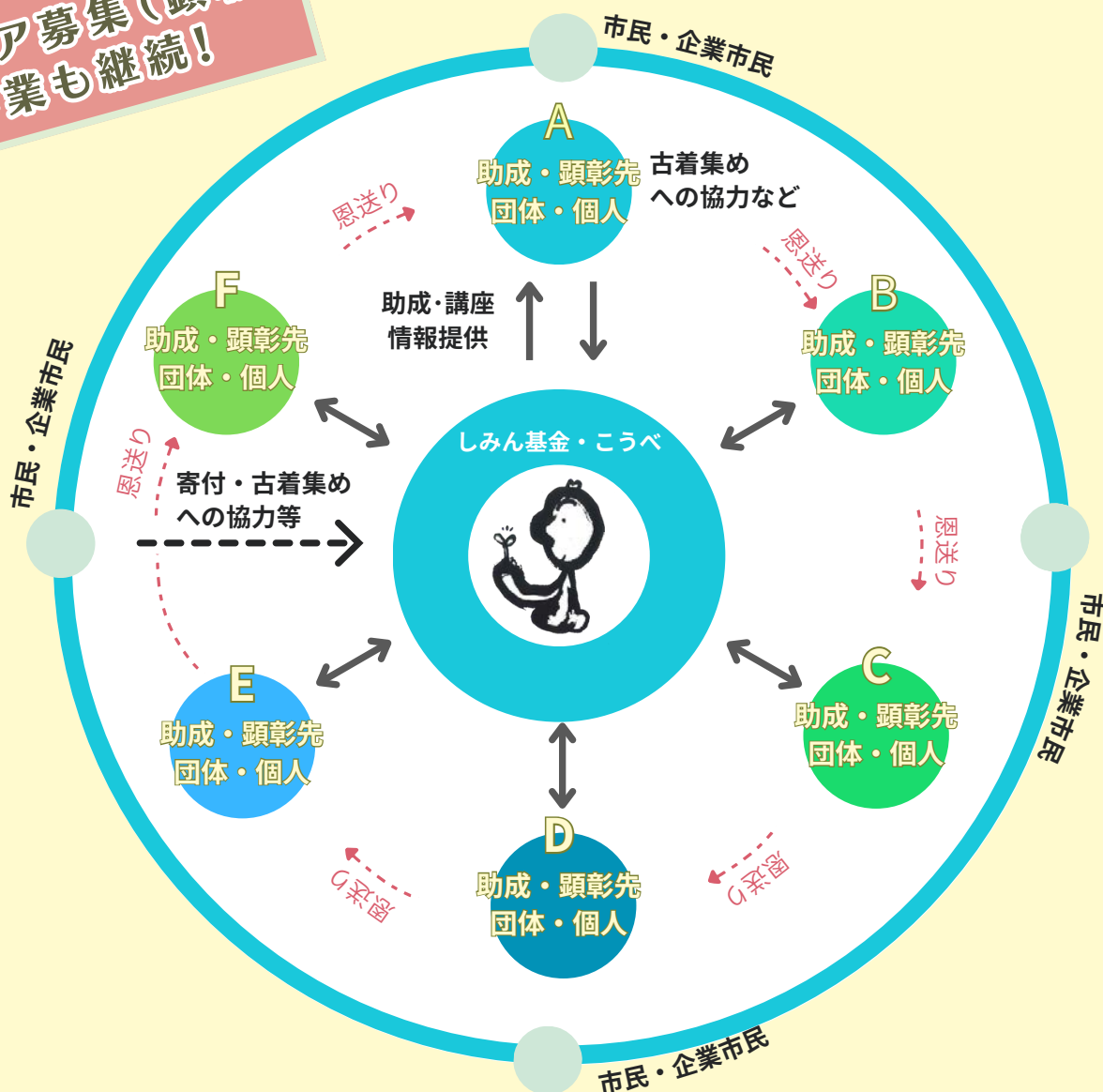


認定NPO法人しみん基金・こうべ

2025年度助成およびアイデア募集（顕彰）事業

申込のしおり

アイデア募集（顕彰）
事業も継続！



【おたがいさま基金をめざして】

共助・互助を社会化させる仕組みとして、当基金では助成を受けた団体が、次の助成原資をつくるために当基金へ古着チャリティ・Vポイントキフなどを通じて寄付をする恩送り形式を作りたいと考えています。（上記の図参照）

市民活動団体同士が資金的に助け合う、こうした[おたがいさま]の精神が当基金の助成および顕彰事業の根本理念として根づくべく、みなさまとの協働作業のお手伝いをいたします。

申込締切日 | 09月26日（金）必着

公開審査会 | 11月28日（金）

助成金交付 | 12月下旬（予定）

締め切り注意！

助成およびアイデア募集（顕彰）事業の趣旨

認定NPO法人しみん基金・こうべ（以下、当基金）は、地域を愛する多くの市民・団体・企業等が自発的に寄付という形で資金を提供しあうことで基金を形成し、市民活動団体に対して、開かれた自律的なルールによって助成金を拠出するコミュニティファンドとして、阪神・淡路大震災をきっかけに設立されました。2000年1月4日に兵庫県より認証を受け、2015年10月23日に神戸市から認定を受けた、認定NPO法人です。当基金は阪神・淡路大震災で体感した支え合い、助け合いのすばらしさを大切に、地域に根ざし、次世代を担う若者と手を携えながら、草の根の活動を広げいきます。草の根活動とは、すなわち市民社会をつくる活動です。市民社会は、公共を、行政に頼るだけでなく、自律かつ自立した市民一人一人による自助と共助・互助で成していく社会であると考えています。

一方、近年は災害が多発化・激甚化しており、災害時は常に大きな社会課題の解決を迫られます。また平時の課題が大きく顕著にもなります。当基金は、日常の社会生活に必要な市民活動、これらの活動から生まれて来る被災地支援・復興へのアイデア（提案・提言）を何かの形で社会へ訴えることは出来ないか、それによって今後災害が起こった際に、それらが活かされる社会であって欲しいと考えています。

応募対象者

◆助成事業（団体のみ）

- ・活動分野制限のない事業に対する助成です。
- ・阪神・淡路大震災被災10市10町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
- ・自主性を確保し、自律的に運営されている団体
- ・団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び体制を備えた団体
- ・正味財産が2,000万円以下の団体

◆アイデア募集（顕彰）事業（団体・個人）

- ・事業助成ではなく、活動分野も問いません。
- ・兵庫県内に主要な拠点を有する団体・個人
- ・大学等の教育研究機関単独ではないこと。
- ・アイデア（提案・提言）は多くのかたで共有することを前提としている旨を了承されていること。
- ・アイデア（提案・提言）が選出された場合は、さらに多様な視点を取り入れブラッシュアップすることを目的としたワークショップ（当基金主催）に出席できること

個別相談会について

「個別相談会」は原則として、平日10:00～18:00の間で、1団体あたり1時間程度、オンラインもしくは当基金事務所において、事前予約制で、個別のご相談を受付けます。18時以降をご希望の場合はご相談ください。

特に初めて申請される団体につきましては、個別相談を受けることをお勧めします。

■ 個別相談会：8月4日（月）～9月24日（水）（要事前予約）

助成事業

① 基本方針

- A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
 - B. 地域での他団体・組織との連携の観点を重視する。
- 上記A Bの一方、もしくは両方をふまえた申請内容にしてください。

② 対象分野

活動分野に限定はありません。

③ 限度額等

1事業について事業費総額の4分の3以内かつ、金50万円を上限とします。（但し千円単位）
助成総額は200万円までを予定しています。

④ 対象期間 2025年11月1日～2026年10月31日

⑤ 選考優先事項

助成先選考にあたっては、上記基本方針をふまえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性があると考えられるものを、優先します。

⑥ 対象経費

給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金） ※交際費は対象外です。

⑦ 助成事業の応募書類

- ・ 助成金支給申請書：当基金所定の用紙に記入して下さい。
- ・ 団体概要書：当基金所定の用紙に記入して下さい。
- ・ 事業計画書：当基金所定の用紙に記入して下さい。
- ・ 事業収支予算書：当基金所定の様式に従って作成、調達方法・積算根拠を明確に記入して下さい。
- ・ 添付書類

ア) 団体の定款または規約、及び役員名簿

イ) 団体の活動の写真または団体の事業を紹介するパンフ・チラシ・新聞等の記事
（無い場合は結構です。）

ウ) 前年度の決算書類及び今年度の予算書

（団体設立後、最初の決算を終えていない場合は予算書のみで結構です。）

※ 助成金を使用して10万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は見積書等を添付して下さい。

※ 当基金所定の申請書類は、当基金のホームページからもダウンロード可能です。
書式の記入例もホームページに掲載されていますのでご参照下さい。

アイデア募集（顕彰）事業

① 課題解決アイデア（提案・提言）とは

限定はありませんが、あくまで市民レベルで実現可能性のあるアイデアや必要な行政の仕組みについてのアイデア（提案・提言）であることを条件とします。

わかりやすいものを以下に例示します。

- ・ 支援の経験はしていないが、災害が起ったらこんなことに困るだろうから、こんな準備をしておきたいと考えるもの。
- ・ 災害支援と直接関係のない活動をしているが、その実践や得た知見は復興にも活かせるのではないか。活かせることができれば、こんなことが解決するのでは、と思われるもの。これまで実践してきた内容そのものではなく復興に活かす事が出来ると思われる活動。
- ・ 実際に被災地で支援を経験して、上手く出来たもの。および、こうすれば、より上手く出来ると気づいたもの。
- ・ 必要な行政の仕組みについては、この時にこのような行政の支援が必要だといったアイデア（提案・提言）でも構いません。

※事業助成申請ではありません。

② 対象分野

活動分野に限定はありません。

③ 賞

入賞提案賞金10万円／件 総額は30万円を予定しています。

④ 評価のポイント

社会課題にマッチしていて、先駆性、共有、展開の容易さ、被災者への効果（エンパワー、いやし）を基本として行われます。

⑤ アイデア（提案・提言）のブラッシュアップのためのワークショップ

受賞したアイデア（提案・提言）を、共に議論し意見を形成するワークショップ（対面もしくはオンライン）を当基金主催により実施します。アドバイザーをお呼びするとともに、多様な視点を取り入れるため、誰でも参加できるような場とします。

⑥ アイデア募集（顕彰）事業の応募書類

提案（概要、必要条件、効果）をA4で3枚程度にまとめて下さい。（形式は任意）
団体の場合は、定款（規約）と団体パンフレットまたはチラシもご提出ください。

申し込み

① 提出方法

助成事業、顕彰事業ともメール、郵送

※郵送、電子メール（PDFのみ）または持参にて受付します。（FAXでの提出は不可）

※持参される場合は事前にお電話の上、平日10時～18時の間をお願いします。（土/日/祝日は不可）

② 提出先

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通4-1-23-605 認定NPO法人しみん基金・こうべ

TEL(078)-230-9774 メール 申請書PDFデータ提出先：josei@stylebuilt.co.jp

その他・お問い合わせ先：kikin@stylebuilt.co.jp

③ 受付期間 2025年8月4日（月）～9月26日（金）

審査・選考の方法

◆助成事業

受付終了後応募多数の場合は、当基金理事会にて書類審査を行います。その後、書類審査を通過した案件につきましては、選考の参考とするために活動現場に当基金の理事がお伺いしてヒアリング調査を行います。（10月下旬）

最後に、申請団体のプレゼンテーションによる公開審査会で、第三者の審査員による厳正かつ公平な選考を行い、助成先及び助成金額を決定します。

※なお、公開審査会は2025年11月28日（金）13:30～17:00頃を予定しております。

ここに必ず出席することが、助成条件のひとつとなっています。詳細につきましては、後日ご案内いたします。

◆アイデア募集（顕彰）事業 書類審査のみ

選考結果の通知

助成事業・顕彰事業で、助成・入賞が決定された案件に対しては、12月上旬までに、書面もしくはメールにて通知いたします。

※応募多数で事前書類審査がある場合は、その結果を10月中旬頃に通知いたします。

※通過・不通過の理由に関するお問い合わせには応じかねますので、ご了承下さい。

助成金・賞金の交付

◆助成事業

助成が決定した団体に対しては、選考結果通知に同封して、所定の手続書類を郵送します。当基金との「助成金交付に関する覚書」（以下「覚書」）締結等の手続きが完了次第、銀行振込みにて交付します。

◆アイデア募集（顕彰）事業

12月に贈呈式を実施し、その後銀行振り込みにて交付します。

事業成果の報告（助成事業のみ）

当基金の助成を受けた団体は、助成対象事業完了後速やかに、所定の様式により事業報告書を提出していただきます。（提出期限：2026年11月末日）合わせて、「事業成果報告会」（2026年12月頃開催予定）にて、助成事業の成果報告をしていただきます。

※なお、申請案件が全く実施されていないこと、途中で中止されたこと、また助成金の使途が申請案件以外であったり不明であることが判明した場合には、「覚書」に従って助成金の返還をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。

※顕彰事業に関しては報告の義務はありませんが、3ページアイデア募集（顕彰）事業⑤にあるブラッシュアップのためのオンラインワークショップへの出席をお願いします。

助成事業申請書類の書き方（アイデア募集（顕彰）事業は任意形式）

1. 助成金支給申請書（書式1）

事業名	30字以内で事業の内容がよくわかる名称をご記入下さい。
事業費総額	書式4の事業費総額と一致させて下さい。（但し1000円単位）
助成金支給申請額	事業費総額の4分の3以内かつ50万円以下の範囲内でご記入下さい。書式4の助成金申請額と一致させて下さい。（但し1000円単位）

2. 団体概要書（書式2）

事務担当者氏名	今回の助成申請で実際に窓口として担当される方のお名前をご記入下さい。なお、昼間連絡可能な番号が、団体電話番号欄記入のものと異なる場合はご記入下さい。
団体の理念・目的	団体の目指すところを簡潔に記入して下さい。
団体の事業内容	団体が日常的に取り組んでいる事業内容を箇条書きで記入して下さい。
会員	正会員、賛助会員、利用会員など会員制度があれば各々の人数と併せてご記入下さい。
スタッフ	勤務時間や有償・無償に関わらず、直接団体の運営・管理に常時かかわっている方のことです。
おたがいさま基金への協力	おたがいさま基金については、当基金ホームページ内の「参加のしかた」ページをご覧ください。
財政状況	前々年度、前年度の決算、今年度予算計画及び正味財産（繰越金の累計）をご記入下さい。また、前年度の決算書類及び今年度予算書があれば添付して下さい。

3. 事業計画書（書式3-1、3-2）

申請事業の主な分野	申請事業の主な分野を下記から選んで記号を1つ書いて下さい。 A.高齢者、障がい者支援 B.保健、医療 C.社会教育 D.まちづくり E.観光振興 F.人権擁護、平和推進 G.環境 H.災害救援 I.農村漁村、中山間地振興 J.地域安全 K.学術、文化、芸術、スポーツ振興 L.国際協力、多文化共生 M.経済活性化 N.男女共同参画 O.能力開発、雇用創出 P.情報化 Q.子育て支援、子どもの健全育成 R.消費者保護 S.NPO支援 T.その他
-----------	--

今年度基本方針と申請事業との関係性	今年度の基本方針（「A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。」「B. 地域での他団体・組織との連携の観点を重視する」のいずれか、あるいは両方）と申請事業との関係性について簡潔に記入して下さい。 Aは貴団体の活動を継続・発展していける人材の育成を申請事業でどのように実施するのか、Bは申請事業を当該地域で、どのような団体・組織とどのように連携し実施していくのか、今後その連携をどのように維持・発展させていくのかなどを具体的に記入して下さい。
事業の内容	申請事業における具体的な活動項目・内容を箇条書きして、その目標設定を可能な限り数値化して記入して下さい。 （例）〇〇のための連続研修会の実施。 目標参加人数〇〇人
事業のスケジュール	助成対象となる事業の具体的な活動項目を予定している日程順に並べて、それぞれに実施場所と実施担当者名を記入して下さい。日程は月単位や旬・週単位等でも結構です。 具体的な活動項目が継続的に実施される場合は、例えば「〇月～〇月までの毎週末」と月日欄に記入して下さい。物品購入の場合は、購入予定時期と物品を使用する場所を記入して下さい。

4. 事業収支予算書（書式4）

<収入の部>

科目	予定している資金の調達元を記入して下さい。（例）会費収入、事業収入、自己資金など。 なお、科目名については当ホームページに掲載している「科目名の詳細説明」をご参照下さい。
金額	それぞれの科目ごとに金額を記入して下さい。千円未満の端数は切り捨てして下さい。
調達方法	それぞれの科目ごとに具体的にご説明下さい。 また、事業計画書等との整合性にご留意下さい。 （例）会員100名×@/3,000、参加費 @/500×目標参加人数30名

<支出の部> 「助成金での使途科目」と「助成金以外での使途科目」を分けて記入下さい。

科目	必要な費用の使途を記入して下さい。科目名については当ホームページに掲載している「科目名の詳細説明」をご参照下さい。
積算根拠	それぞれの科目ごとに具体的な用途と金額を算出した計算式（単価×数量）などを明確に記入して下さい。また、事業計画書等との整合性に留意下さい。 （例）賃借料@/20,000×6ヶ月

※ 科目名を形態別分類によるものでなく、「〇〇会開催費」のような機能別分類による科目名を設定していただいても結構です。「助成金での使途科目」に掲げられる経費は本しおりの2ページ助成事業 ⑥対象経費に挙げているものに相当するものであることとします。

※ 助成金を使用して10万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は、業者等による見積書やカタログ等を添付して下さい。（コピー可）

お申し込み・お問い合わせ・ご相談のご案内

助成・アイデア募集（顕彰）事業への申し込み、お問い合わせは
下記事務局までご連絡をお願いします。

また、申請書類等は当基金のホームページよりダウンロード可能です。
なお、申請内容等については、1ページのご案内のと通りの要領で、
個別相談会を開催いたしますので、この機会もご活用下さい。

認定NPO法人 しみん基金・こうべ
<https://www.stylebuilt.co.jp/kikin>

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通4-1-23-605
TEL (078) 230-9774 FAX (078) 230-9786
E-mail kikin@stylebuilt.co.jp

受付時間 午前10:00～午後6:00（月～金）※定休日：土日祝

しみん基金 検索

